

Ⅱ 結果の内容

《消費生活に関する意識について》

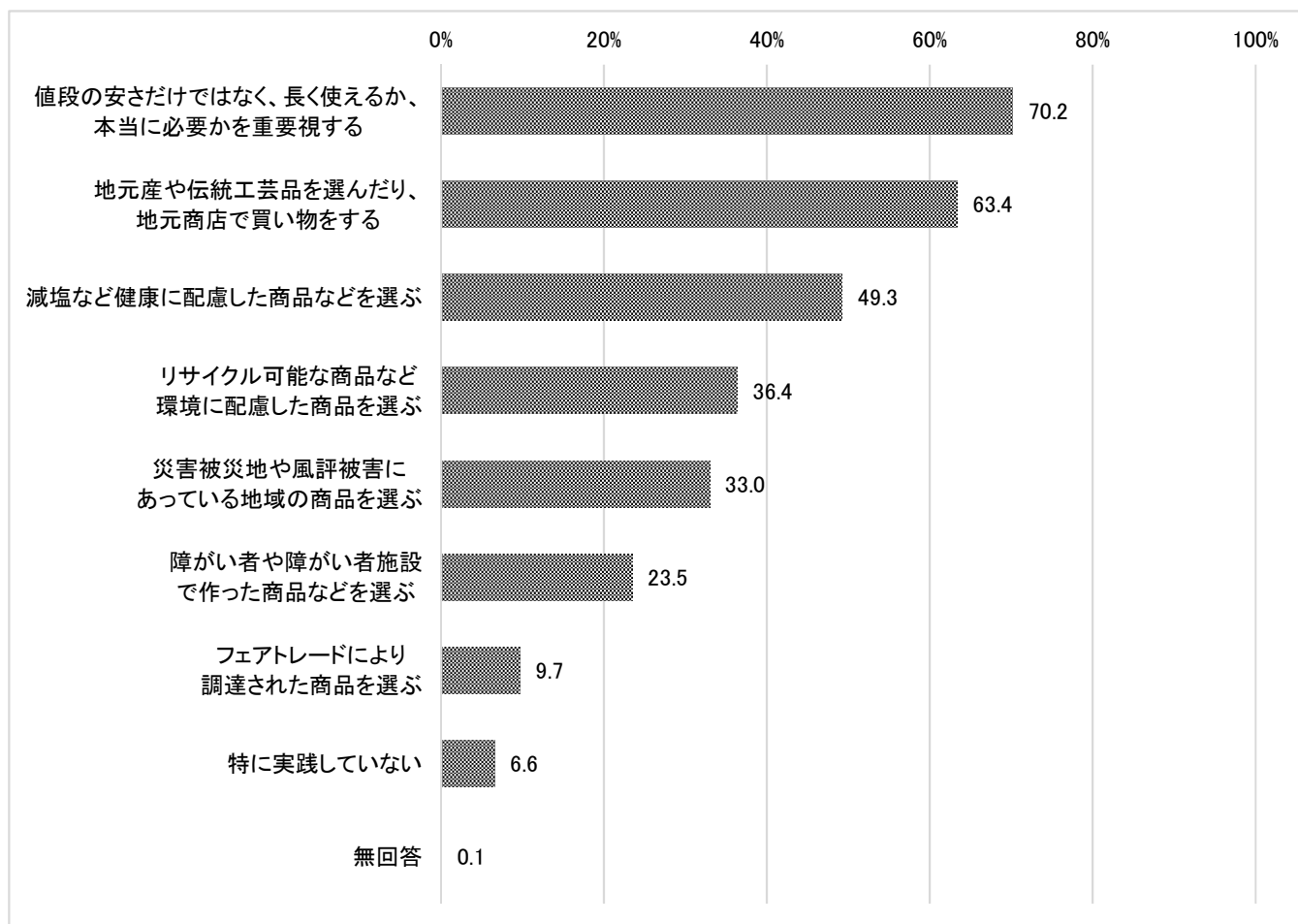
＜エシカル消費の実践状況＞

「値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する」が約7割

問1 「長野県版エシカル消費」について、次のような取組がありますが、日常の生活において実践していることはありますか。当てはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

	回答数 (人)	割合 (%)
n=940		
値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する	660	70.2
地元産や伝統工芸品を選んだり、地元商店で買い物をする	596	63.4
減塩など健康に配慮した商品などを選ぶ	463	49.3
リサイクル可能な商品など環境に配慮した商品を選ぶ	342	36.4
災害被災地や風評被害にあっている地域の商品を選ぶ	310	33.0
障がい者や障がい者施設で作った商品などを選ぶ	221	23.5
フェアトレードにより調達された商品を選ぶ	91	9.7
特に実践していない	62	6.6
無回答	1	0.1

●「値段の安さだけでなく、長く使えるか、本当に必要かを重要視する」が70.2%と最も多く、次に「地元産や伝統工芸品を選んだり、地元商店で買い物をする」（63.4%）、「減塩など健康に配慮した商品を選ぶ」（49.3%）となっている。

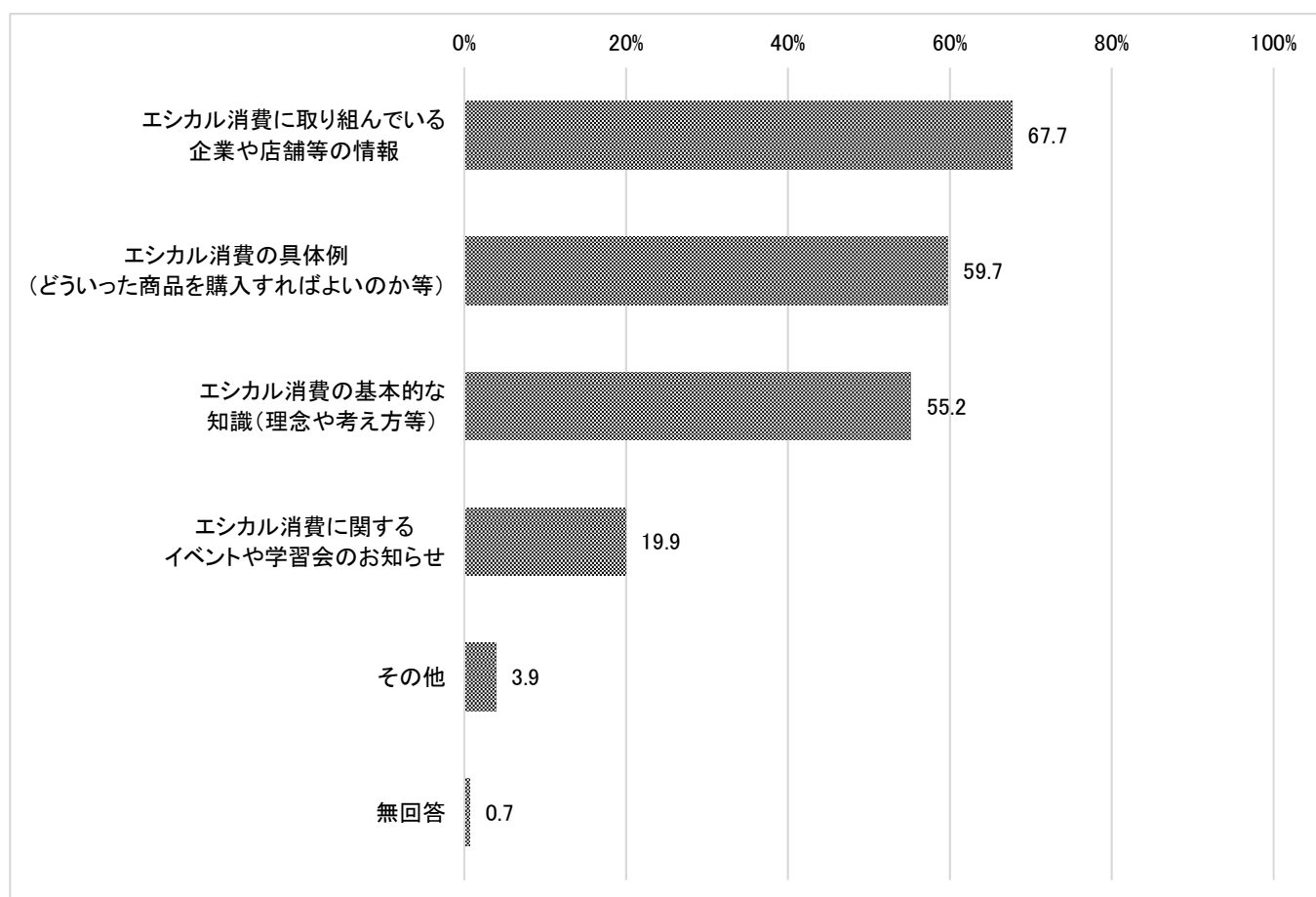


<エシカル消費を行う上で必要な情報>
「エシカル消費に取り組んでいる企業や店舗等の情報」が約7割

問2 あなたがエシカル消費を続けていく上で、またエシカル消費を始める際に、どのような情報があれば良いと思いますか。当てはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

	n=940	回答数 (人)	割合 (%)
エシカル消費に取り組んでいる企業や店舗等の情報		636	67.7
エシカル消費の具体例(どういった商品を購入すればよいのか等)		561	59.7
エシカル消費の基本的な知識(理念や考え方等)		519	55.2
エシカル消費に関するイベントや学習会のお知らせ		187	19.9
その他		37	3.9
無回答		7	0.7

●「エシカル消費に取り組んでいる企業や店舗等の情報」が67.7%と最も多く、次に「エシカル消費の具体例」（59.7%）、「エシカル消費の基本的な知識」（55.2%）となっている。



その他としては、「エシカルという言葉が分かりにくいので、簡単な言葉に言い換えてはどうか」、「学校での教育が効果的と思われる」、「直接的なメリットがほしい」等の回答が見られた。

《自転車の利活用、保険加入等について》

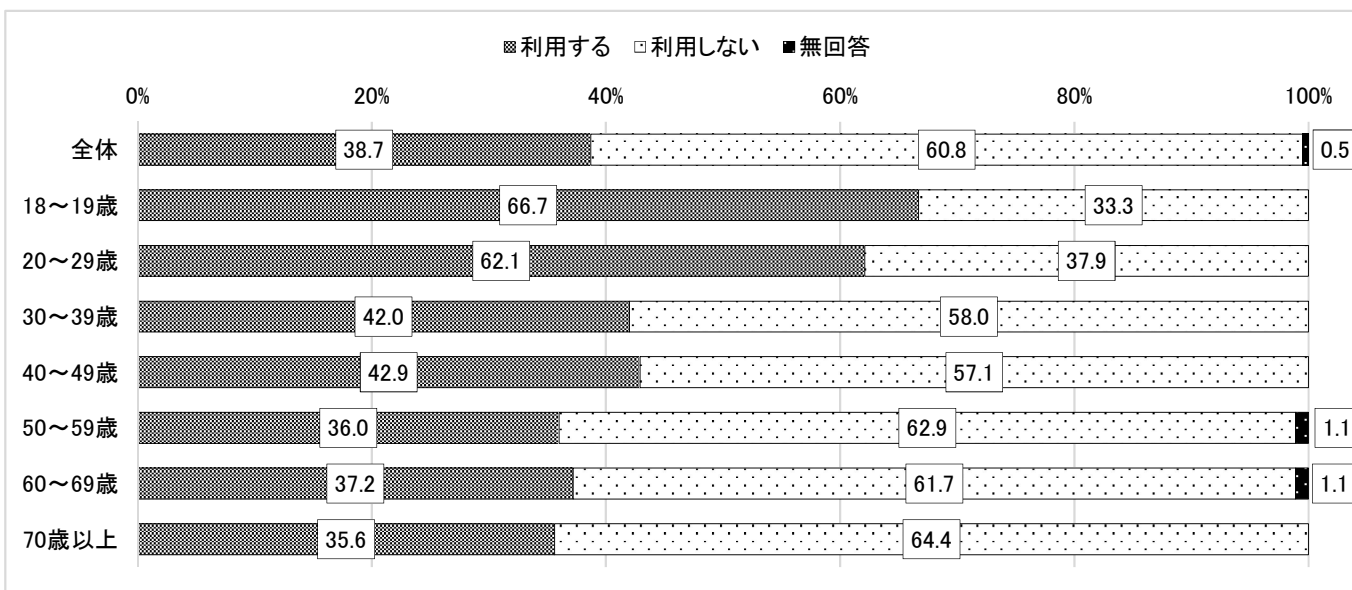
＜自転車の利用目的＞

利用目的は、「日常生活」が2割超

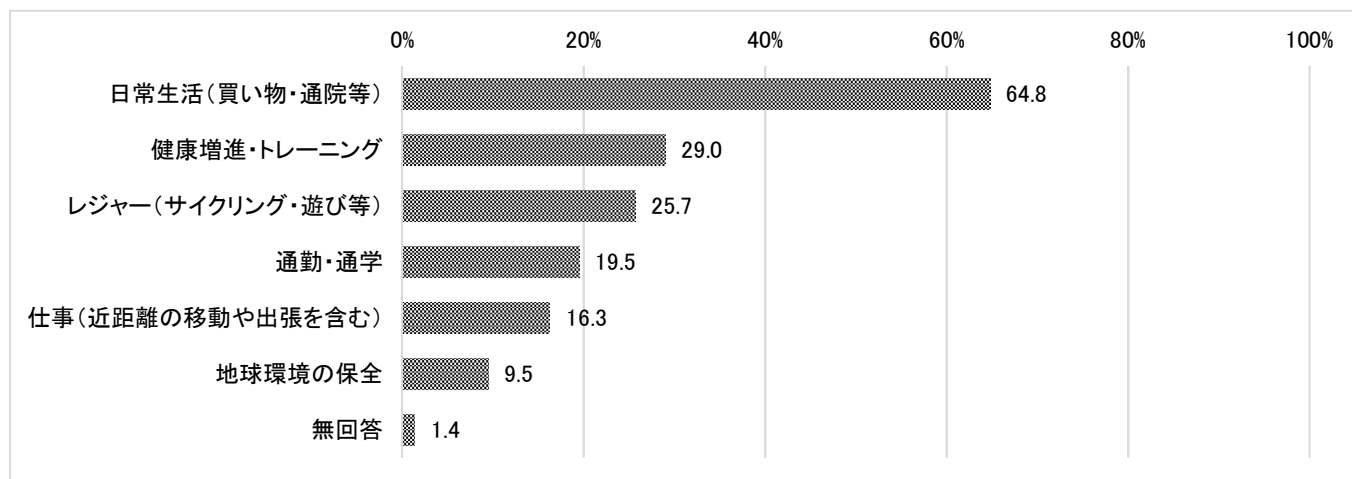
問3 どのような目的で自転車を利用しますか。(シェアサイクル、レンタルサイクルを含みます。)当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

		回答数 (人)	割合 (%)
n=940			
自転車を利用する	日常生活(買い物・通院等)	239	25.4
	健康増進・トレーニング	107	11.4
	レジャー(サイクリング・遊び等)	95	10.1
	通勤・通学	72	7.7
	仕事(近距離の移動や出張を含む)	60	6.4
	地球環境の保全(二酸化炭素等の温暖化効果ガスの削減)	35	3.7
自転車は利用しない		571	60.7
無回答		5	0.5

●自転車を利用する者は、30歳以降の年代で5割を下回っている。



●自転車の利用目的は、日常生活が最も多い。
(「自転車は利用しない」と回答した者を除く369人が選択した割合)

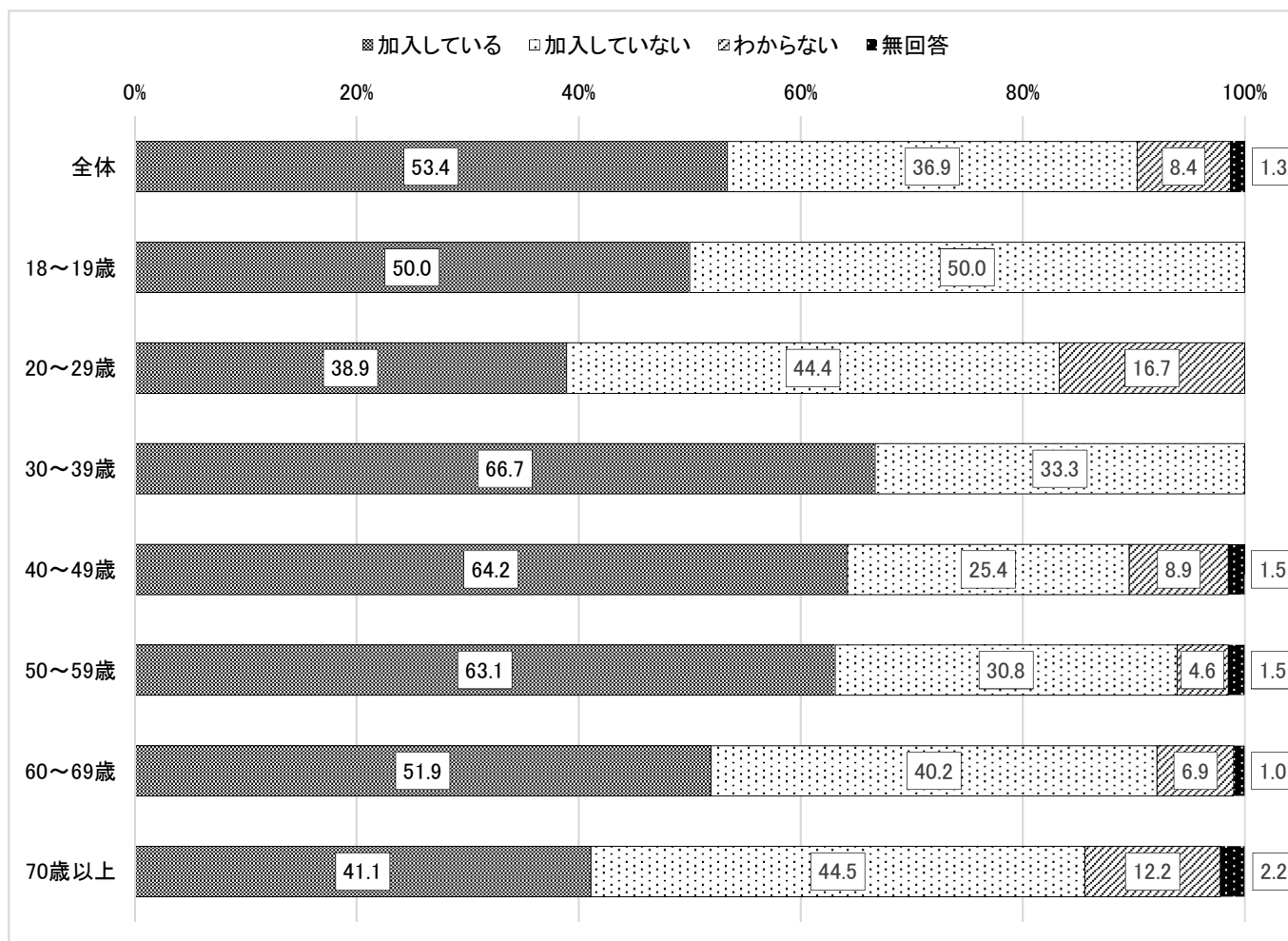


＜自転車の損害賠償保険等への加入状況＞
「はい(加入している)」が5割超

問4 自転車損害賠償保険等に参加していますか。当てはまるものを選んでください。(自転車本体に掛けられる保険や、回答者本人が保障対象者となる保険(共済)契約を含みます。)(○は1つ)

	n=369	回答数 (人)	割合 (%)
はい		197	53.4
いいえ		136	36.9
わからない		31	8.4
無回答		5	1.3

●「はい(加入している)」が53.4%と最も多い。年代別では、30～39歳の加入率が66.7%と最も高くなった。



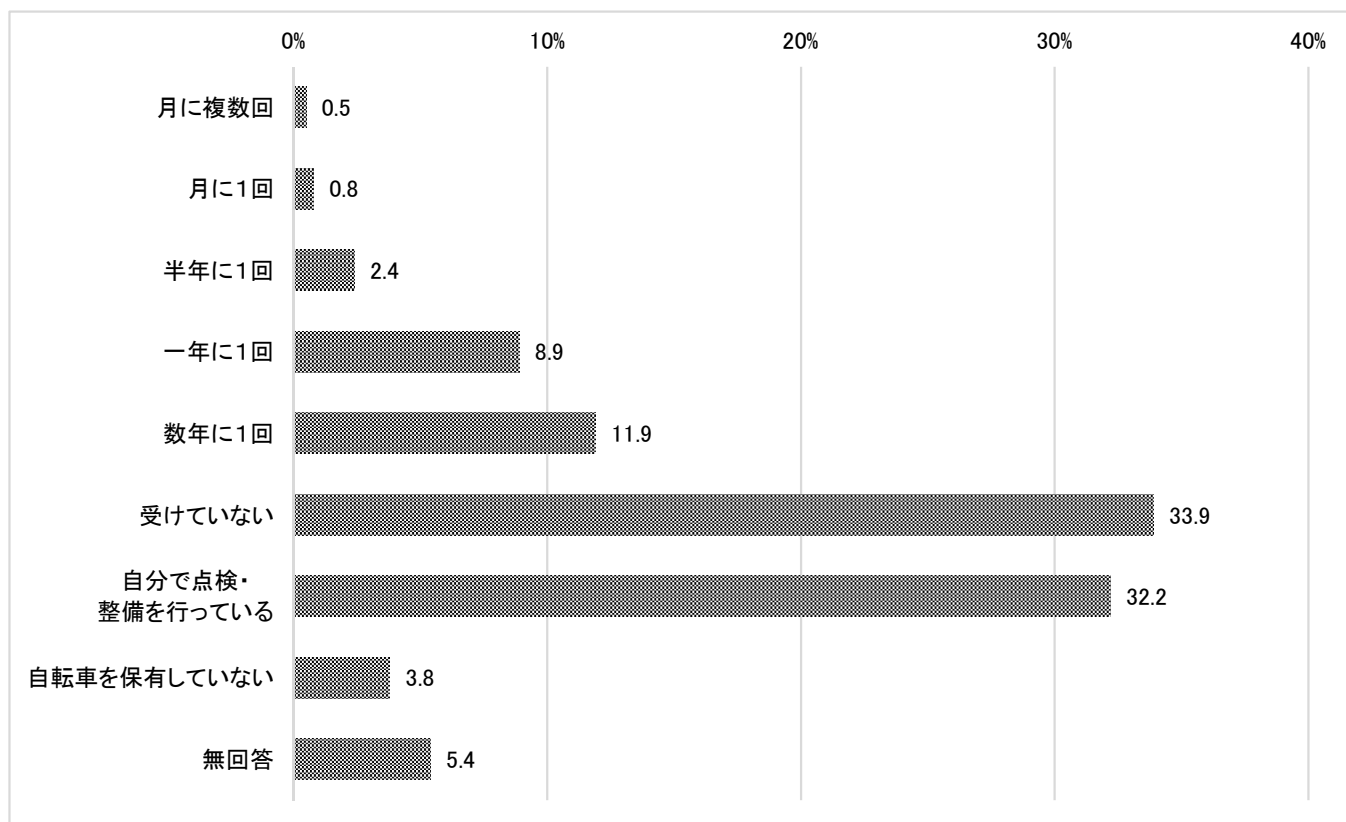
未加入の主な理由として、「自転車の利用頻度が低い」、「近距離移動が中心」、「保険の内容や加入方法が分からない」、「保険料が負担になる」等の回答が見られた。
また、「加入を検討している」、「保険加入の義務化を知らなかった」等の回答も見られた。

＜自転車販売店等での自転車の点検・整備の頻度＞
「受けていない」が3割超

問5 安全で安心して自転車を利用するため、どのくらいの頻度で、自転車販売店等の専門的な知識や技能を持つ方による点検・整備を受けていますか。当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

	回答数 (人)	割合 (%)
月に複数回	2	0.5
月に1回	3	0.8
半年に1回	9	2.4
一年に1回	33	8.9
数年に1回	44	11.9
受けていない	125	33.9
自分で点検・整備を行っている	119	32.2
自転車を保有していない	14	3.8
無回答	20	5.4

●「受けていない」が33.9%と最も多く、次に「自分で点検・整備を行っている」(32.2%)、「数年に1回」(11.9%)となっている。



《人権に関する意識について》

＜人権を尊重する意識の定着度＞

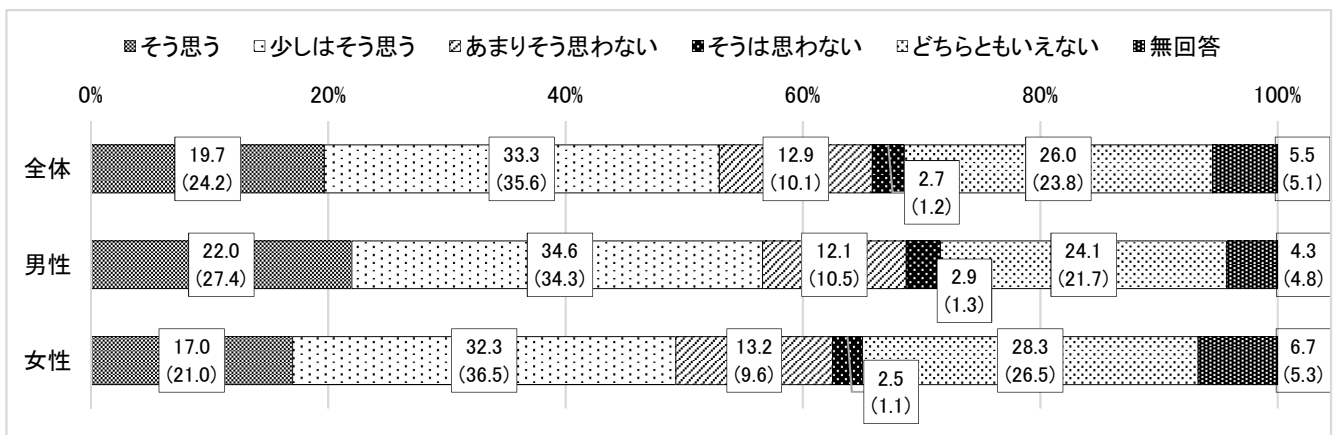
「日常生活において人権が尊重されていると思う」と「少しはそう思う」を合わせて5割超

問6 あなたは日常生活において人権が尊重されていると思いますか。当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

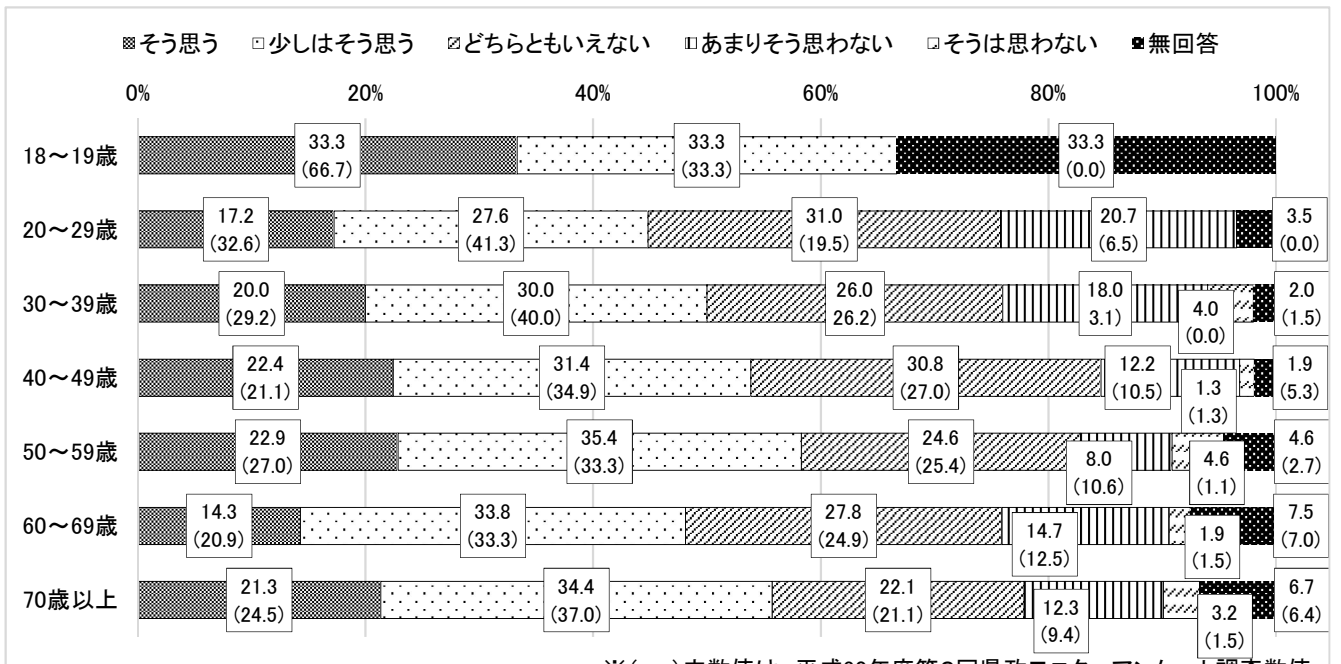
	R1年度 n=940		H30年度 n=1008	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
そう思う	185	19.7	244	24.2
少しはそう思う	313	33.3	359	35.6
あまりそう思わない	121	12.9	102	10.1
そうは思わない	25	2.7	12	1.2
どちらともいえない	244	26.0	240	23.8
無回答	52	5.5	51	5.1

●「そう思う」、「少しはそう思う」と感じている人の割合は53.0%で、「どちらともいえない」と感じている人の割合は26.0%となっている。

●男女別では、「そう思う」、「少しはそう思う」と感じている割合が、男性が56.6%、女性が49.3%となっている。



●年代別では、「そう思う」、「少しはそう思う」の割合が低いのは20代(44.8%)、次いで60代(48.1%)であり、前回調査と比較すると、20代は29.1%減少している。



※()内数値は、平成30年度第2回県政モニターアンケート調査数値

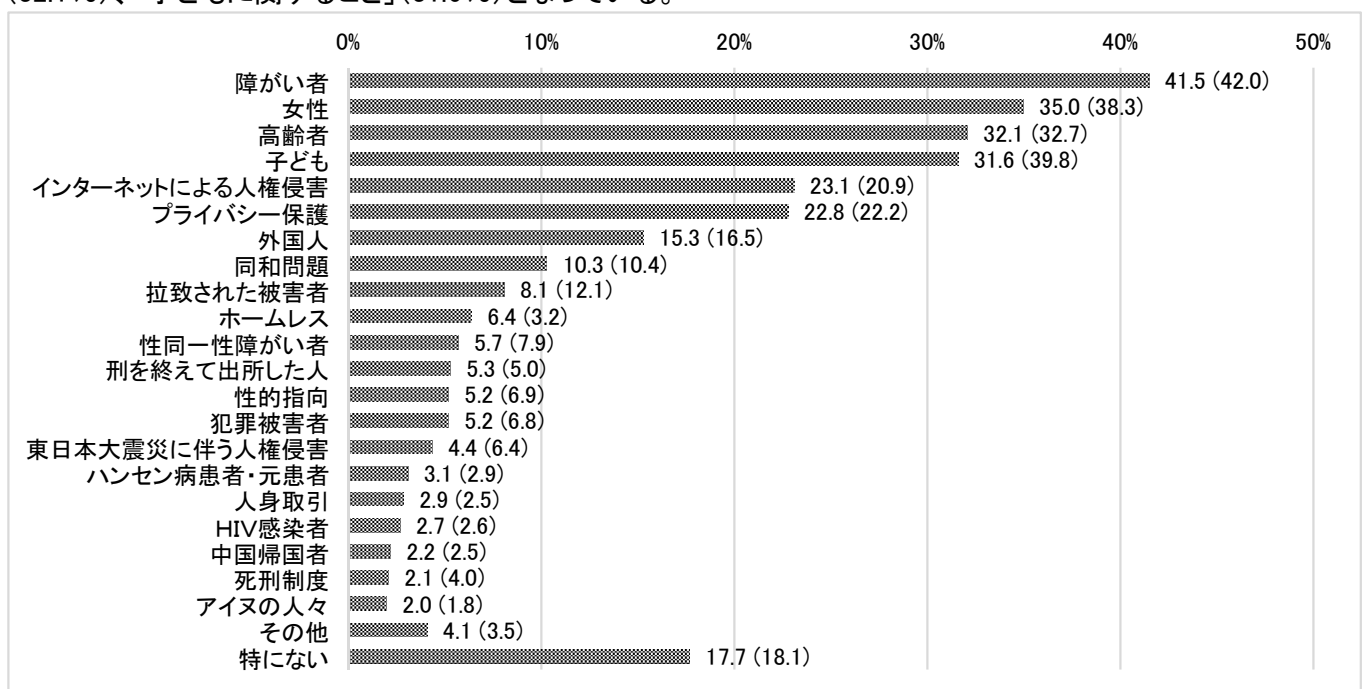
＜身近で起きている人権問題＞

「障がい者に関すること」が約4割、「女性に関すること」が3割超

問7 あなたの身の回りで起きている身近な人権問題は何ですか。当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R1年度 n=940		H30年度 n=1008	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
障がい者に関すること	390	41.5	423	42.0
女性に関すること	329	35.0	386	38.3
高齢者に関すること	302	32.1	330	32.7
子どもに関すること	297	31.6	401	39.8
インターネットによる人権侵害に関すること	217	23.1	211	20.9
プライバシー保護の問題に関すること	214	22.8	224	22.2
外国人に関すること	144	15.3	166	16.5
同和問題に関すること	97	10.3	105	10.4
北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関すること	76	8.1	122	12.1
ホームレスに関すること	60	6.4	32	3.2
性同一性障がい者(生物学的な性とところの性が一致しない者)に関すること	54	5.7	80	7.9
刑を終えて出所した人に関すること	50	5.3	50	5.0
性的指向(同性愛、両性愛)に関すること	49	5.2	70	6.9
犯罪被害者等に関すること	49	5.2	69	6.8
東日本大震災に伴う人権問題に関すること	41	4.4	65	6.4
ハンセン病患者・元患者等に関すること	29	3.1	29	2.9
人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)に関すること	27	2.9	25	2.5
HIV感染者に関すること	25	2.7	26	2.6
中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)に関すること	21	2.2	25	2.5
死刑制度に関すること	20	2.1	40	4.0
アイヌの人々に関すること	19	2.0	18	1.8
その他	39	4.1	33	3.3
特にない	166	17.7	182	18.1

●「障がい者に関すること」が41.5%と最も多く、次に「女性に関すること」(35.0%)、「高齢者に関すること」(32.1%)、「子どもに関すること」(31.6%)となっている。



※()内数値は、平成30年度第2回県政モニターアンケート調査数値

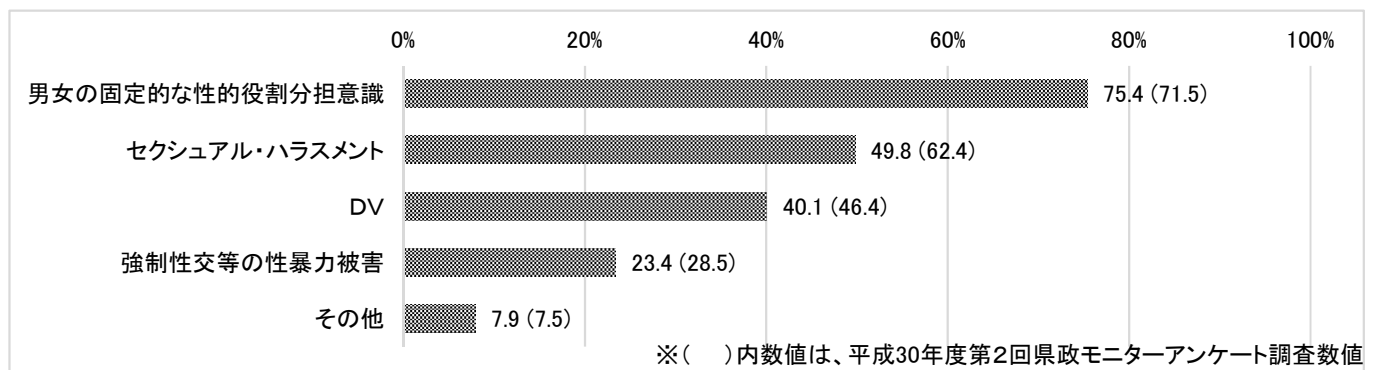
＜女性に関する人権問題＞

「男女の固定的な性別役割分担意識」が7割超、「セクシュアル・ハラスメント」が約5割

問8 問7で「①女性に関すること」を選んだ方に伺います。女性に関する人権問題について、具体的にどのようなものがあると思いますか。当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R1年度 n=329		H30年度 n=386	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
男女の固定的な性別役割分担意識	248	75.4	276	71.5
セクシュアル・ハラスメント	164	49.8	241	62.4
DV(ドメスティック・バイオレンス)	132	40.1	179	46.4
強制性交等の性暴力被害	77	23.4	110	28.5
その他	26	7.9	29	7.5

●「男女の固定的な性別役割分担意識」が75.4%と最も多く、次に「セクシュアル・ハラスメント」(49.8%)、「DV」(40.1%)となっている。



＜子どもに関する人権問題＞

「いじめ」が8割超、「虐待」が約7割

問9 問7で「②子どもに関すること」を選んだ方に伺います。子どもに関する人権問題について、具体的にどのようなものがあると思いますか。当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	R1年度 n=297		H30年度 n=401	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
いじめ	254	85.5	346	86.3
虐待	210	70.7	273	68.1
体罰	131	44.1	166	41.4
子どもの性に着目した形態の営業や犯罪被害	78	26.3	119	29.7
強制性交等の性暴力被害	62	20.9	82	20.4
その他	24	8.1	31	7.7

●「いじめ」が85.5%と最も多く、次に「虐待」(70.7%)、「体罰」(44.1%)となっている。

